

学位論文公聴会

熱帯植物のアスコルビン酸高集積機構の解明

発表者：近藤隆之（生物圏科学研究科 酵素化学研究室）

日時：2017年2月3日(金) 10:30～11:20

会場：C314 講義室（生物生産学部）



ビタミンCとして知られるアスコルビン酸は、動植物の生命維持に必要な不可欠な物質である。熱帯植物であるモリンガ(*Moringa oleifera*)とアセロラ(*Malpighia glabra*)は、アスコルビン酸を豊富に含むことが知られている。本研究では、2種のアスコルビン酸高含有熱帯植物に着目し、アスコルビン酸高集積機構の解明を目指した。

本公聴会は生物圏科学研究科・共同セミナーとなります。【問い合わせ】生物圏科学研究科 酵素化学研究室
江坂宗春 (mesaka@hiroshima-u.ac.jp)